

大田区立新井宿福祉園

令和7年度(2025年度)事業報告

1. 運営方針

「地域と共にある」

- (1) 利用者の権利と尊厳を守り、一人ひとりの個性と可能性を尊重した支援を行い利用者が地域で暮らし続けられることを目指します。
- (2) 利用者のニーズを把握し、効果的なサービスの提供と効率的な事業所運営に努めます。
- (3) 家族、関係機関、地域社会との連携を図り、利用者の自立を目指した運営に努めます。
- (4) 情報公開等により、透明性の高い運営に努めます。

2. 職員等配置

- ・ 正規職員 25 名
- ・ 正規職員以外 6 名（非常勤職員 4 名・嘱託医 2 名） 合計 31 名

3. 利用者受入等・年間作業売上金の分配 *日数・%等は前年同期比

定員	開所日数	延べ利用者数	平均利用者数	稼働率		利用率	
40 名	235 日（-4 日）	7,644 名	32.6 名	81.3%	-2.4%	78.0%	-0.8%
年間作業売上金の分配		10,000 円	前年度年間作業売上金の分配		10,000 円	増減	± 0 円

※平均利用者数＝延べ利用者数÷開所日数（小数点第2位切り上げ）

※稼働率＝延べ利用者数÷（定員×開所日数）（小数点第2位四捨五入）

※利用率＝延べ利用者数÷（在籍数 41.7 名×開所日数）（小数点第2位四捨五入）

*新規利用者 2 名（新卒者 1 名・他法人からの施設間異動 1 名）

*退所者 3 名（施設間異動（法人内） 1 名・都外グループホーム入居 1 名・都外施設入所 1 名）

4. 重点目標に対する取り組み状況

第5次経営改革プラン項目				回数・日付	人数
I 面的支援体制整備の推進					利：利用者 職：職員
1	安心安全な運営と体制整備	内容	(1) 利用者の安心感を生む「可能性」「創造性」「喜び」「幸せ」を中心とした活動の提供 ⇒利用者が移転前に培った力を活かしつつ、新しい環境や個々の特性・生活リズムに合わせて、活動場所や内容（例：活動や食事の時間）を柔軟に提供。	通年	

		⇒外部講師（陶芸・アート）と連携し、職員と利用者が協働して創作活動や自主生産品づくり、新商品の開発を進めた。開発したパスタ皿は、地域連携の一環として蒲田のイタリアンレストランで実際に使用されている。 ⇒地域イベントへの出店 （２）仮移転の活動プログラムの検討及び検証 ※新井宿福祉園改築計画も併せて実施 ⇒移転プロジェクトチームによる検討 （部屋の使い方や作業、運動等の検討） ⇒運動プログラム構成チーム 移転前の散歩道を利用者と散策 ⇒仮移転先の内覧会 対象：保護者 ⇒仮移転先の内覧会 対象：利用者・職員 ⇒仮移転先の開所（新井宿地区⇒萩中地区） ※改築後の活動プログラムの検討及び検証 ⇒改築プロジェクトチームによる検討 （部屋の使い方や作業、運動等の検討） ⇒運動プログラム構成チーム （室内運動等※ハンモック、ブランコ、ホール使用方法含む） ⇒入新井第二小学校と連携し、「未来の懸け橋」をテーマに児童と利用者が共同でアートを制作。話し合いを経てテーマを『みらいのまち』に決定し、新井宿地区の工事現場フェンスへ令和８年７月に掲示予定。 地域とのつながりと未来への希望を表現する取り組みとなった。	9回 5回 (1～2/月) 6/6 6/10 6/11 6/12 6/9 6/11 6/12 6/19 6/23～ 8月～ 10月～ 10月～ 12月～	職14名・利3名 正規職員全員 職2名・利3名 10名 9名 6名 職6名・利15名 職10名・利16名 職8名・利10名 職5名・利10名 正規職員全員
第5次経営改革プラン項目			回数・日付	人数
Ⅲ 分野横断的な連携による複合的課題に対する包括的支援の推進				
Ⅳ 福祉人材の確保・育成・定着				

2	関係機関との連携強化と人材育成	内容	(1) 法人内外事業所との交流企画や研修等の取組み ⇒法人内事業所間交流等研修参加 ⇒法人内事業所間交流等研修受け入れ ⇒法人外事業所間交流等研修受け入れ ⇒法人内他事業所との交流活動 ⇒法人外他事業所との交流活動 ・ 3施設が合同で開催した夏祭り (はぎなか園・大田生活実習所・新井宿福祉園) ・ 音楽クラブで使用する物品借用 (大田生活実習所) ⇒委託会社への虐待防止・権利擁護研修 バス会社 給食業者 (2) 事業所及び他法人との事例検討会を通して、互いの研鑽からチーム支援力と専門性、アセスメント力の向上 ⇒事業所内事例検討会 ⇒他法人との事例検討会 ※2回中1回は社会福祉実習生含む	通年 2回 4回 12/15 1回 9/20 2回 4/2 6/13 4回 2回	2名 4名 1名 10名 350人 16名 3名 93名 48名
第5次経営改革プラン項目				回数・日付	人数
Ⅱ 地域に根ざした公益的な取り組みの推進					
3	地域交流の活性化	内容	(1) 「地域に出向き、地域を招き入れる」交流活動 ⇒大田区子どもガーデンパーティー ⇒大田文化の森 夏祭り ⇒福祉と文化と医療のまちのスペシャルデー ※自主生産品販売と大田文化の森活動紹介 パネル展示 (展示期間 10/30～11/3) 新井宿地区民生委員・員児童委員販売協力 ⇒大森第三中学校職場体験 受け入れ ⇒新井宿地区民生委員・児童委員自主生産品の製造販売協力 (煎餅作業・新井宿地区での販売補助) ⇒羽田地区民生委員・児童委員自主生産品の製造販売協力 (煎餅作業、懇談会での意見交換含む) ⇒入新井第二小学校5年生交流会兼勉強会	4/28 7/27 11/3 10/1～3 通年 12月～ 11/7	80名 職：2名 職：2名 2名 職：3名

			⇒入新井第二小学校 新井宿福祉園が訪問 ※第 24 回「地域と考える人権展」への参加 ⇒ クリスマスコンサート ※会場：羽田国際高等学校 ⇒ 二十歳を祝う会 ※会場：萩中集会所 (2) 地域行事等への参加 (新井宿地区及び移転先の萩中地区含む) ⇒第 14 回ふれあいまつり萩中・羽田 ⇒萩中地区地域防災訓練 ⇒はぎなか展・作業公開 見学及び参加	12/ 3 12/24 1 /27 10/19 12/ 3 3 / 4	職：1名・利：2名 45 名 40 名 職：2名 職：2名 職：4名・利：10名
第 5 次経営改革プラン項目				回数・日付	人数
Ⅴ 社会の動向を踏まえた持続可能な経営基盤づくり					
4	安定的な事業所運営	内容	(1)法令遵守の徹底 ⇒朝礼・夕礼・職員会議・掲示を通して、 ①虐待防止・人権擁護 (東京都虐待防止研修資料抜粋・法人諸規程) ②個人情報保護 (個人情報保護規程・個人情報の取り扱いに関する注意喚起について) ③労働安全衛生 (受動喫煙防止指針・健康企業宣言定期便・熱中症対策・メンタルヘルスセルフケア等) を周知・確認した。 ICT 化への取り組み ⇒ほのぼのソフト導入時期の選定 ⇒ほのぼのソフト検討 PT と連携し、支援計画書式の見直し。 (2)働きやすい職場環境の整備 感染症対策委員会の設置 ⇒感染症対策委員会について ① 月に 1 回 経営層会議内で実施 ② 内科検診の際に、流行している感染症についての情報と予防の確認。また、困り感の相談。 ③ 職員会議で予防方法等の周知 健康企業宣言の取り組み	通年 通年 通年	

			⇒日常生活の中で可能な運動方法と効果の張り紙を掲示し、啓発している。		
--	--	--	------------------------------------	--	--

5, 年間行事実績

4月	入所式・大田区子どもガーデンパーティー	10月	大田区文化の森 活動紹介パネル展示 (10/30～11/3)
5月	新井宿地区 ありがとう月間	11月	新井宿地区 福祉と文化と医療のまちのスペシャルデー ※移転中の為、自主生産品販売のみ(新井宿地区民生委員・児童委員 共同班場) 入新井第二小学校5年生交流会兼勉強会 個別外出・小グループ外出
6月	訪問理美容 解体式※移転前の施設にて実施 6/23 萩中地区へ移転・開所	12月	個別外出・小グループ外出 第24回「地域と考える人権展」 萩中商店街防災訓練・訪問理美容 クリスマスコンサート
7月	開所式※移転後の施設にて実施 生活班別上期懇談会&給食試食会	1月	個別外出・小グループ・班外出 二十歳を祝う会・ボランティア懇談会
8月	利用者自治会企画活動(表彰会) 生活班別上期懇談会&給食試食会 宿泊訓練(千葉県鴨川方面)	2月	個別外出・小グループ・班外出 生活班別下期懇談会 ピンクシャツデー啓発運動
9月	宿泊訓練(千葉県鴨川方面)・訪問理美容	3月	個別外出・小グループ・訪問理美容 利用者自治会企画活動(表彰会) 民生委員・児童委員懇談会

6, 福祉人材の確保・育成・定着

	実施項目	具体的取組の内容	回数・日付	人数
1	OJT・職場内研修	(1) サービス提供ガイドライン、各種業務標準を活用して、新キャリアパスに応じたOJTの実施 ⇒サービス提供ガイドライン読み合わせ。 ① 日常の気づきから「頑張れること」「活かしたいこと」の共有・発表 ② ①の目標の達成具合や課題等の振り返り ③ 課題等の取り組み内容の再確認。令和8年度事業計画案の意見の抽出 ⇒新キャリアパスに応じたOJTの実施 ※OJTシート活用	適宜 11/26 12/10 1/20 通年	 23名 23名 23名 2名

		(2) 職場内研修の計画実施 ① サービス管理、障害特性・支援技術等 ⇒朝礼・夕礼で気付きを共有し、支援の根拠を踏まえて方法を検討。現場では OJT を通じて支援・介護技術を指導。 ② 虐待防止・権利擁護関連 ⇒サポーターズカレッジ視聴 ・委託業者向けの研修 ・職員向けの研修 ③ 危機管理・防災・応急救護等 ⇒送迎バス 車椅子乗車方法確認 ⇒移転先の避難経路確認 ⇒BCP の理解と職員の役割確認 ④ 感染症対策・保健衛生等 『1 回目』 研修目的：感染症予防対策 研修内容：「手洗い研修」 ※サラヤから講師を招いた 実地研修：手洗いの方法と感染予防 『2 回目』 研修目的：第 2 段 感染予防対策 研修内容：「ジェスパの正しい使い方」 ※エコノミールから講師を招いた 実地研修：ジェスパの効果の実証体験	通年 4 / 1 ・ 6 / 13 3 回 6 回 6 / 20 6 / 23 3 回 3 回	19 名 90 名 3 名 29 名 29 名 29 名 29 名
2	外部研修	① 障がい特性 5 講座 ② リスクマネジメント 2 講座 ③ 利用者支援・技法 7 講座 ④ 福祉サービス・制度 5 講座 ⑤ 経営・運営 12 講座 ⑥ その他 4 講座	5 回 2 回 8 回 5 回 14 回 4 回	5 名 2 名 11 名 5 名 13 名 4 名

7. その他特記事項

・大田区整備計画説明会 4 月 21 日

対象者：保護者

内 容：『新井宿福祉園の大田生活実習所への一時移転について』

場 所：新井宿福祉園【保護者連絡会内】

説明者：障害福祉課施設担当・施設保全課建築担当

- ・大田区整備計画説明会 4月25日
対象者：新井宿福祉園 近隣住民
内 容：『新井宿福祉園の工事計画について』
場 所：新井宿福祉園
説明者：障害福祉課施設担当・施設保全課建築担当
- ・大田区整備計画説明会 5月16日
対象者：保護者
内 容：『新井宿福祉園の工事計画について』
場 所：新井宿福祉園
説明者：障害福祉課施設担当・施設保全課建築担当
- ・仮移転先新井宿福祉園見学会 7月28日、
対象：城南特別支援学校保護者1名及び教員9名
- ・指定管理再指定のため、評価委員会にてプレゼンテーション実施（8月）
- ・大田区整備計画説明会 12月19日
対象者：保護者
内 容：『新井宿福祉園の第2期工事計画について』
場 所：大田文化の森
説明者：障害福祉課施設担当・施設保全課建築担当
- ・大田区整備計画説明会 12月22日
対象者：新井宿福祉園 近隣住民
内 容：『新井宿福祉園の第2期工事計画について』
場 所：大田文化の森
説明者：障害福祉課施設担当・施設保全課建築担当

以上